

お知らせ

平成20年 8月25日

同時資料提供

岡山県政記者クラブ
津山記者会

水源地域活性化の方策やアイデアを3つの分科会で検討

「苦田ダム水源地域ビジョン策定分科会ワーキング(第3回)」の開催について

苦田ダムの水源地域の自立的・持続的な活性化を図り流域内の連携と交流によるバランスのとれた流域圏の発展を図ることを目的として、「苦田ダム水源地域ビジョン策定委員会」を平成20年5月12日に設立し、これまで委員会を2回、分科会ワーキングを2回開催しています。今回分科会ワーキングの3回目を下記のとおり開催します

記。

- 日 時 平成20年9月2日(火)
- 場 所 鏡野町奥津振興センター 会議室
岡山県苦田郡鏡野町井坂495
- 各ワーキング開催時間
 - ・奥津湖ワーキング 9:00~11:30
 - ・交流連携ワーキング 13:30~15:30
 - ・資源活用ワーキング 18:00~20:00
- 各分科会ワーキング参加者について
 - ・別紙のとおり

問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局

苦田ダム管理所 所 長

おさかだ かたし
小坂田 堅

管理係長

よしもち じゅんえい
吉持 淳栄

TEL(0868)52-2151

■ 各分科会ワーキングへの参加団体一覧

団体名	交流連携		資源活用		奥津湖		備考
	参加区分	参加人数	参加区分	参加人数	参加区分	参加人数	
奥津温泉観光協会					○	3	
奥津温泉旅館組合			○	1			
鏡野町観光振興協議会					○	3	
鏡野町商工会	○	1	○	1			
鏡野町青年 農業者クラブ 泉会	○	2	○	3	○	1	
鏡野町林業研究会 明日絵会			○	3			
鏡野町林業研究グループ 連絡協議会			○	2			
久田川漁業協同組合					○	3	
作州かがみの森林組合			○	1			
杉・箱ふれあい祭 実行委員会					○	1	
塚谷・馬場の明日を 考える会	○	1	○	1	○	2	
NPOてっちりこ			○	1			
富林業研究グループ			○	2			
農事組合法人 長藤農場	○	1	○	1	○	1	
羽出地区農林業 後継者クラブ すずのこ会			○	1			
(株)花美人の里					○	3	
またたび隊			○	1			
道の駅奥津温泉出荷組合			○	2			
(株)未来奥津	○	1	○	1	○	1	
(株)山田養蜂場	○	1			○	1	
鏡野町	○	2	○	2	○	2	
岡山県 美作県民局					○	1	
苫田ダム管理所	○	3	○	3	○	3	
合計	8団体	12人	16団体	26人	13団体	25人	

苦田ダムの周辺を活かした 『地域活性化計画』を つくっています！

いま、私たちは、『苦田ダム水源地域ビジョン』を検討しています。

『水源地域ビジョン』とは、地元が中心となって
ダムやその周辺の良いところを活かして、
地域を元気にしていく計画です。

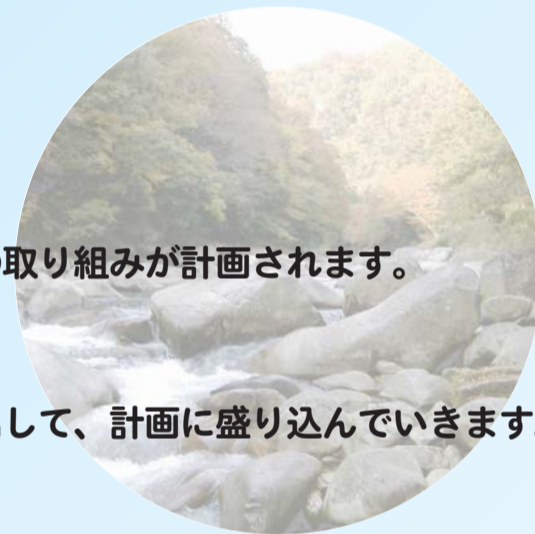
計画の内容

●地域を活かした計画です！

ダム周辺地域の良いところを活かした様々な活性化の取り組みが計画されます。

●みんなが取り組む計画です！

地域の誰もが参加し、協力できる取り組みを見つけ出して、計画に盛り込んでいきます。



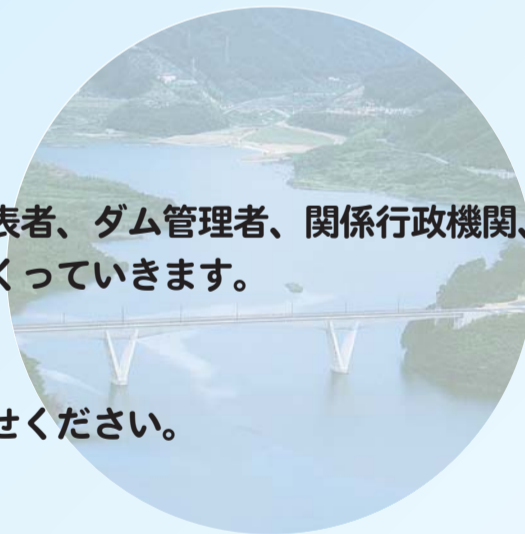
計画のつくりかた

●みんなでつくります！

地域にお住まいのみなさんや、自治体の代表者、ダム管理者、関係行政機関、有識者からなる策定組織を設立して検討を進め、計画をつくっていきます。

●みなさんの声をください！

計画に対する地域のみなさんの声もお聞かせください。



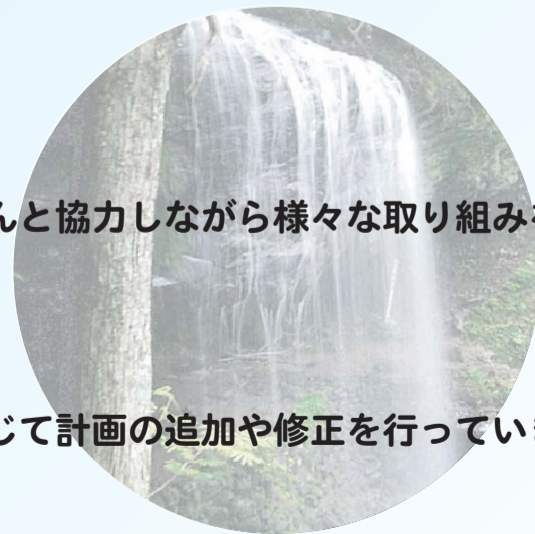
計画をつくったあと

●みんなですすめます！

計画を推進していくための組織をつくり、地域のみなさんと協力しながら様々な取り組みを実施していきます。

●できることからすすめます！

計画の内容に応じてできることから順次進め、必要に応じて計画の追加や修正を行っていきます。



地域みなさんと一緒に 検討しています！

苫田ダム水源地域ビジョンは、地域にお住まいのみなさんや、自治体の代表者、ダム管理者、関係行政機関、有識者が集まり、協力して検討を進めています。

策定委員会とは？

●苫田ダム水源地域ビジョン策定委員会

◆役割

- ビジョン策定に関する基本的な内容の検討
- 策定主体組織の意向調整・合意形成

●苫田ダム水源地域ビジョン策定分科会ワーキング

◆役割

- 地域活性化の方策やアイデアを検討
- 協働で実行できる活動の内容を検討
- 地域住民の参加機会の検討・実施

◆参加メンバー

地域活動団体の代表者・実務者、地域で活動する個人、関係機関の実務者、など

策定分科会ワーキングは、3つのワーキングで構成

●交流連携ワーキング

●資源活用ワーキング

●奥津湖ワーキング

●策定委員会委員（敬称略）

美作大学大学院教授 目瀬守男（委員長）
鏡野町町長 山崎親男（副委員長）
鏡野町議会議長 西山宣治
鏡野町観光振興協議会会長 鈴木春治
鏡野町商工会会長 野井新造
作州かがみの森林組合組合長 藤原繁
岡山県美作県民局次長 本山隆介
国土交通省苫田ダム管理所所長 小坂田堅



●策定分科会ワーキング参加団体：合計23団体

奥津温泉観光協会、奥津温泉旅館組合、鏡野町観光振興協議会、鏡野町商工会、鏡野町青年農業者グループ泉会、鏡野町林業研究会明日絵会、鏡野町林業研究グループ連絡協議会、久田川漁業協同組合、作州かがみの森林組合、杉・箱ふれあい祭実行委員会、塚谷・馬場の明日を考える会、NPOてっちりこ、富林業研究グループ、農事組合法人長藤農場、羽出地区農林業後継者クラブすずのこ会、(株)花美人の里、またたび隊、道の駅奥津温泉出荷組合、(株)未来奥津、(株)山田養蜂場、鏡野町、岡山県美作県民局、苫田ダム管理所

平成21年3月までに 策定します！

苦田ダム水源地域ビジョンは、平成20年度末（平成21年3月）の策定を目指して検討を進めていきます。

ビジョン策定までのスケジュール（予定）



苦田ダム水源地域ビジョン

検討は

ここまで進みました！

第2回策定委員会で、苦田ダム水源地域ビジョンの施策内容の素案を整理しました。

苦田ダム水源地域ビジョン施策内容（素案）

繋ぐ！ 人・地域

- 人・団体・地域の交流促進
- 人づくり、情報発信

交流ネットワーク

- 活動組織の連携・協力
- 交流ネットワーク組織の充実

人材育成

- 地域を紹介できる人材の育成
- 地域の人材の有効活用

交流活動

- 下流域との交流活動
- 水源地域の交流活動
- 地域の特徴を活かした交流活動

情報発信

- 地域活動に関する情報交換・情報共有
- 様々なPR手法の検討

活かす！ 地域資源

- 地域資源の発掘・活用
- 地域資源の保全・育成

資源の発掘・活用

- 住民参加による地域資源の発掘
- ホテルの里づくり
- 自然を活かしたアートな空間利用

産品開発・育成

- 新たな地域産品づくりの検討
- 地元産品の販売・育成
- 陸封アユに関する調査・研究

流域環境の保全・育成

- 森林環境の保全・整備
- 河川環境の保全
- 地域環境の向上

地域の体験・発見

- 地域の自然体験
- 地域の歴史・文化体験
- 地域の農林業体験

集う！ 奥津湖

- 奥津湖の有効活用
- 観光面の活用促進

奥津湖の湖面利活用

- 湖面利用の促進
- 湖面利用のルールづくり
- 湖面利用イベントの開催

奥津湖周辺の利活用

- 湖畔イベントの開催
- 湖岸道路のレクリエーション利用
- 周辺山林を活かした自然体験
- 利用しやすい環境整備

奥津湖の観光拠点化

- 湖畔広場の活用
- 奥津湖周辺の魅力を高める整備
- 奥津湖周辺の適切な管理

周遊観光の推進

- 案内・誘導サインの充実
- 観光ルートづくり
- 案内マップづくり